

指定管理者モニタリングレポート（令和6年度）

作成日 令和7年6月20日

施設名	加茂野保育園	
所在地	美濃加茂市加茂野町鷹之巣字中落1453	
指定管理者	名称 株式会社 セリオ 代表者 代表取締役 黒崎 泰司 住所 大阪市北区堂島 1-5-17 堂島グランドビル 8F	
指定期間・選定方法	R5.4.1～R8.3.31	<input checked="" type="checkbox"/> 公募・ <input type="checkbox"/> 非公募(任意指定)
モニタリングの実施方法等	加茂野保育園・児童館において実施	
担当課 (問合せ先)	健康こども部こども未来課	

モニタリングの総合結果及び業務改善に向けた方針

- ・「美濃加茂市立加茂野保育園及び加茂野児童館指定管理業務仕様書」中の「(2)管理運営の基本方針」に基づいた管理運営が行われているかを確認した。
- ・指定管理の初年度である令和5年度においては、引継ぎ期間や人員体制確保、地方部におけるノウハウの不足により、従前の保育内容を引き継ぎ実施していくことについて難しい面があったことから、毎月随時モニタリングを実施し、円滑な管理運営が行えるように市と連絡調整を図ってきたところである。
 そのような中で令和6年度においては、職員の採用や職員研修を積極的に行い人員体制の強化が図られた。
- また保育サービスについては、昨年から引き続きおむつのサブスクリプションサービスの提供や、新たに乳幼児保育へのコットの導入、英会話教室の実施などサービスの拡充が図られた。苦情対応についても職員間で情報共有を行い、受付から解決まで迅速な対応が行われた。
- そうした取り組みの結果、保護者アンケートでは前年度と比較し、保護者の満足度に大幅な向上がみられた。
- ・今後も質の高い保育の実践に向けて、保育士等人員の安定的な雇用を図ること、園内研修や交流保育などにより同僚性の高い組織を志向すること、円滑なコミュニケーションを通じ、保護者との良好な関係を築くことについて、不断の取り組みを実践されたい。
- ・併せて、英語、スイミングなどの特別保育の継続的な実施、休日、延長保育及び医療的ケア児保育の実施など保育サービスの充実を図られたい。

①経営分析に関すること

- ・令和5年度より支出は増加したが、収入の範囲内で事業を行っており、事業収支は黒字となった。
- ・人員体制が確保されことにより人件費が増加し、人件費比率は対前年比 2.7 ポイント増となった。一方で人員体制が整ったことにより、人材確保のための広告宣伝費は減額となった。なお、外部委託比率は 1.5 ポイント減となったが、これ自体は支出総額の増加に伴う委託費比率の低下を示すものであり、本部経費や業務委託料の増加により、外部委託費は増加した。
- ・保育料及び保育所等給食費を市が徴収しており、私的契約児の利用がなかったため、利用料金比率は 0.0% となっている。

②事業計画・実施事業に関すること

- ・事業計画のうち、概ね予定通りに執行することができていた。
- ・支出は予算額を上回るも収入の範囲内の執行となり、収支の整合は図れていた。
- ・保護者アンケートや職員満足度調査を実施し、保育環境や労働環境の改善を行っていた。

③経理に関すること

- ・保育園専用口座を開設し、帳簿等は経理部により適正に管理されていた。
- ・現金管理については園長が出納帳で適切に管理していた。

④施設管理に関すること

- ・定められた保守点検・検査のうち、桜の木の防除及び給食用小荷物専用昇降機の点検2回分(仕様書上年4回)が未実施であった。
- ・マスターキーについてはキーボックスや管理台帳を用いて適切に管理している。また社内の内部監査を実施することでリスク管理を行っていた。
- ・警備担当を駐車場に配置し管理している。また令和 7 年 3 月よりみまもりカメラ(防犯カメラ)を計 13 台設置し施設の警備に努めていた。

⑤サービスに関すること

- ・おむつのサブスクリプションサービスの提供や、また新たにコットを導入(乳幼児限定)し、保護者の負担軽減及び衛生面の改善、サービス向上に取り組んでいた。
- ・苦情等の処理に関する書類については全職員が閲覧できるようにし共有していた。
- ・コドモンを利用し、保護者へ動画や文章を使って保育の様子を高頻度で配信していた。
- ・保護者向けアンケートの結果が前年度にたいして向上した。

⑥その他

- ・個人情報収集、利用、保護に関するプライバシーポリシーを策定し、利用者に周知していた。
- ・定期的な職員アンケートを実施し、労働環境や労働条件についての意見を収集しており、収集した意見を元に改善を行っていた。
- ・毎月随時モニタリングを実施し、市と密に報告や調整を行っていた。また医療的ケア保育の受け入れ実施に向けた協議・検討を進めている。

指定管理者モニタリングレポート（令和6年度）

作成日 令和7年6月20日

施設名	加茂野児童館	
所在地	美濃加茂市加茂野町鷹之巣字中落1453	
指定管理者	名称 株式会社 セリオ 代表者 代表取締役 黒崎 泰司 住所 大阪市北区堂島 1-5-17 堂島グランドビル 8F	
指定期間・選定方法	R5.4.1～R8.3.31	公募・非公募(任意指定)
モニタリングの実施方法等	加茂野保育園・児童館において実施	
担当課 (問合せ先)	健康こども部こども未来課	

モニタリングの総合結果及び業務改善に向けた方針

・加茂野児童館については、令和5年度から(株)セリオが管理運営を開始し、「児童館ガイドライン(平成30年10月1日子発 1001 第1号厚生労働省子ども家庭局長通知)」及び本市の児童館運営のルールに沿った形での運営・維持管理が行われた。

・令和5年度に引き続き、「児童館お楽しみ会」や「伝承あそび」、「クリスマス会」、「夏休み講座」などさまざまなイベントを、加茂野地区の民生児童委員及び健寿会会員、西中学校の中学生などの地域ボランティアの方の協力を得ながら開催し、様々な交流が図られた。また令和6年度よりなかよしデー行事を月齢別の開催からだれでも参加できるよう変更したり、助産師による「あじさい子育て広場」を月1回から毎週木曜日に実施するよう変更したりと新たな取り組みも行った。

・次に運営上の課題及びその解決方策について述べたい。

①児童館は18歳未満のすべての子どもを対象とした施設であるが、加茂野児童館は主に乳幼児を対象とした行事を実施しており、市内の子育て支援施設(サンサンルーム・にじいろ広場・ほたるの広場)との差別化がなかなか図れていない状況にある。そのような中で、令和6年度については、夏休み小学生講座に中学生がボランティア活動として参加するなど、小中学生の行事の拡充を図ることができた。今後も、小中高生を対象とした行事を拡充し実施することで、加茂野児童館が「地域における遊び及び生活の援助と子育て支援を行い、子どもの心身を育成し情操をゆたかにすることを目的とする施設」となるように努められたい。

②令和5年度に引き続き、遊戯室については平日午後(おおむね13時から19時)を加茂野児童館放課後児童クラブが利用していることで、平日午後の利用については児童館の専用室のみに限られ、児童館での遊び、行事の実施など子どもたちの利用が制限されている。また、加茂野保育園が行事等で遊戯室を利用する場合も利用が制限されている。

今後も、加茂野保育園との連絡調整を密にされ、遊戯室が使用できる日時を増やすとともに、場所的な制約があり活動が制限されるが、加茂野児童館が子どもの居場所の一つとなるために、行事等の実施について、さらなる創意工夫をお願いしたい。

①経営分析に関すること

- ・今年度より費用の項目に新たに本部からの経費(本社の総務、経理、人事等の人員に係る人件費の一部を計上)を計上しているため費用が増額となり、事業収支は対前年比△847,262 千円となった。しかし指定管理料の範囲内で事業を行っており、事業収支は黒字であった。
- ・支出のうち多くが児童館に勤務する職員の人件費で占められており、人件費比率は 76.7%である。
- ・児童館は無料で利用できる施設であり、利用料金比率は 0.0%である。

②事業計画・実施事業に関すること

- ・仕様書に則った運営が行われた。また仕様書の適正従業員である館長 1 名、職員 1 名以上に対し、令和 6 年度は館長 1 名、常勤職員 1 名、非常勤職員 2 名での人員体制で事業を実施した。
- ・イベント予約について、先着順としていたことで参加者の偏りや不公平が起きていたことを受け、令和 5 年度から Google フォームを導入したことで、利用者の利便性や公平性を保っていた。
- ・各種イベントについては前回参加者の意見を取り入れながら改善を行い開催していた。

③経理に関すること

- ・児童館固有の口座で資金管理しており、事業に係る経費が適切に支出されていた。
- ・令和 6 年度も自主事業は行っておらず、経費は主に職員の人件費に使われていた。
- ・令和 5 年度に引き続き帳簿については事務局・管理課・経理課の 3 者でトリプルチェックを行い、誤りの起きにくい体制が整えられていた。

④施設管理に関すること

- ・加茂野保育園と併設されているため、建物や設備の点検保守は基本的に保育園で行っているが、仕様書で定められている桜の木防除及び、給食用小荷物専用昇降機の点検2回分(仕様書上年4回)が実施されていなかった。
- ・マスターキーはダイヤル式のキーボックスとし、館長しか扱えないようにしている。また管理台帳を用いて適切に管理できていた。
- ・新たに購入した備品については備品購入記録に記載し、毎月備品の棚卸を行いチェックしていた。

⑤サービスに関すること

- ・令和5年度から小学生・乳幼児親子の利用時間の設定を廃止し、誰でも閉館時間まで利用できるようにした。また令和 6 年度よりなかよしデーの行事を月齢別ではなく誰でも参加できる形態に変更したり、あじさい子育て広場を月 1 回から毎週 1 回実施に変更したり、小学生夏休み講座では中学生にボランティア活動として参加してもらったりと新たな取り組みも行った。
- ・苦情・要望等があった場合は苦情受付簿で適正に管理していた。
- ・人件費削減・生産性向上のために勤怠管理システム・経費精算システム等を社内統一で利用している。また保育園の一部消耗品を共同で使用することにより経費縮減に努めていた。

⑥その他

- ・個人情報については、個人情報管理台帳、リスク管理表、個人情報授受記録表等の帳簿により適切に管理しており、指定管理者内部の監査・指導を受けた。
- ・工作では廃材を活用し、アサガオを使った緑のカーテンにも取り組むなど環境に配慮した事業を実施していた。
- ・利用者の安全管理として、小中高生に利用登録を徹底し、緊急時に保護者と連絡がとれる体制を整えていた。

指定管理者 期末モニタリング チェックリスト(令和6年度)

総合評価	B
------	---

実施日 R7年 6月 20日
担当課 こども未来課

対象施設	加茂野保育園	選定方法	公募・非公募(任意指定)
設置目的	児童福祉法に基づく保育の提供		
指定管理者名	株式会社 セリオ	指定期間	R5.4.1~R8.3.31

総括	B	R5 年度	R6 年度	年度	年度	年度	評価
① 経営分析	事業収支(円)	19,348,240	4,733,694				B
	利用料金比率(%)	0.7	0.0				B
	人件費比率(%)	72.6	75.3				B
	外部委託費比率(%)	11.86	10.4				B
	利用者1人当たりの管理運営コスト(円)	57,524	69,528				B
	利用者1人当たりの市負担コスト(円)	89,041	88,976				B
	施設1㎡当たりの利用者数(人)	1.3	1.3				B

※上記の経営分析については、過去の実績や類似施設と比較して評価する(優良:A、良好:B、問題有:C、要改善:D)

②実施事業に関すること		総括	B	一次評価	評価理由等
1	施設の設置目的に沿った事業を実施したか。目標を達成したか			B	設置目的に沿った事業を実施できていた。
2	収支計画との整合性はあったか			B	令和6年度支出予算額 117,551,145 円、収入予算額 117,624,080 円に対し、令和6年度支出決算額 120,144,392 円、収入決算額 124,878,086 円となった。支出は予算額を上回るも収入の範囲内の執行となり、収支の整合を図れていた。
3	開館時間、休館日は適正に守られていたか			B	適正に守られていた。
4	資格者の人員配置など職員体制が適正に整えられていたか			A	仕様書で定める常勤職員数を配置し、なおかつ仕様書で定めのない非常勤の保育士や事務員を配置していた。
5	公共性・公平性が保たれていたか			B	公共性・公平性が保たれていた。
6	改善指示事項や要望が事業に反映されていたか			A	保護者アンケートや ES 調査(職員満足度調査)を実施し、保育環境や労働環境の改善を行っていた。
7	自主事業は適正に実施されていたか			—	自主事業は実施していない。

③経理に関すること		総括	B	一次評価	評価理由等
1	指定管理業務に係る固有の銀行口座が適正に管理されていたか			B	適正に管理されていた。
2	協定に基づいた支出が適正に行われたか			B	適正に行われていた。
3	指定管理業務と自主事業の会計が明確に区分して管理されていたか			—	自主事業は実施していない。

4	帳簿が適正に記載・管理されていたか	B	適正に記載・管理されていた。
5	帳簿を適正に記載・管理する体制が整えられていたか	B	事業所内の経理部、業務管理チームによる管理体制が整えられていた。
6	現金は適正に管理されていたか	B	適正に管理されていた。

④施設管理に関すること		総括	B	一次評価	評価理由等
1	保守点検・検査・修繕は適正に実施されたか			C	一部定められた保守点検が実施できていなかった。
2	清掃は確実に行われたか			B	定期的な清掃が実施されていた。
3	マスターキー等の管理体制は十分であったか			B	事業者内の規定により管理されている。また社内の内部監査を実施することでリスク管理を行っていた。
4	緊急時の連絡体制は整えられていたか			B	消防署、警察、医療機関の緊急時連絡先を職員に周知していた。
5	避難経路の安全性は確保されていたか			B	避難経路に物品を置かない事を職員に周知徹底していた。
6	備品は適切に管理されていたか			B	備品管理簿により管理されていた。
7	駐車場の保全・管理、施設の警備等は適切に行われていたか			A	警備担当を駐車場に配置し管理している。また令和7年3月よりみまもりカメラ(防犯カメラ)を計13台設置し施設の警備に努めていた。

⑤サービスに関すること		総括	A	一次評価	評価理由等
1	利用時間の延長など具体的にサービス向上や稼働率等の向上に取り組んだか			A	おむつのサブスクリプションサービスの提供や、新たにコットを導入(乳幼児限定)し、保護者の負担軽減及び衛生面の改善、サービス向上に取り組んでいた。
2	苦情等の処理は適正かつ迅速に行われたか			B	関係機関と連携し迅速に対応していた。
3	苦情等の処理に関する書類は適正に整備・管理されていたか			B	苦情受付から解決までの記録を全職員が閲覧可能な共有フォルダで行っていた。
4	ホームページ等でのPRは適正に行われたか			A	コドモンを利用し、保護者へ動画や文章を使って保育の様子を高頻度で保護者に配信していた。
5	セルフモニタリングは適正に行われたか			B	適正に行われていた。
6	利用者アンケートの結果をサービスの向上にいかしたか			A	サービスの向上に生かしており、結果として令和6年度は前年度と比較してアンケート結果が向上していた。
7	サービス向上のために職員研修等を実施したか。接客態度に問題はなかったか			A	研修委員会を園内に新たに設置し、園内研修を月に1~2回程度実施し、サービス向上に努めていた。
8	経費縮減・費用対効果の向上(費用の最小化)を図る取組みを実施したか			B	効率的な修繕等の検討を行っていた。

⑥その他		総括	B	一次評価	評価理由等
1	施設の管理に係る情報の管理や情報公開は適正に行われたか			B	園でのイベントや活動についてのPRを積極的に行い、保護者が参加しやすいように努めていた。
2	個人情報適正に利用・管理されていたか			A	個人情報の収集、利用、保護に関するプライバシーポリシーを策定し、利用者に周知していた。
3	環境に配慮した事業を推進したか			B	廃材を活用した行事を実施していた。

4	業務実施に必要な保険に加入していたか	B	加入していた。
5	利用者及び職員の安全管理に関する体制・仕組みが適切に整えられていたか	B	安全管理計画を策定し、体制を整えていた。
6	労働法令を遵守し、雇用・労働条件への適切な配慮がされていたか	A	定期的な職員アンケートを実施し、労働環境や労働条件についての意見を収集しており、収集した意見を元に改善を行っていた。
7	地域との連携・協働は図られたか。まちづくりに配慮した事業を推進したか	B	園・児童館で園庭開放についての周知を行っていた。小学1年生と年長の交流イベントを開催したり、地域の民生委員が開催するイベントに参加していた。
8	市と連絡を密にしていたか	A	毎月随時モニタリングを実施し、市と密に報告や調整が行えている。また医療的ケア保育の受け入れ実施に向けた協議・検討を進めていた。

●経営分析の指標と評価の考え方

評価指標	計算方法	評価の考え方
◆事業収支(円)	収入－支出	事業全体が黒字であるかを確認。赤字の場合、管理継続性の面で課題となるため、市及び指定管理者で黒字転換に向けた協議が必要である。
◆利用料金比率(%)	利用料金収入／収入×100	収入に占める利用料金の割合。指定管理者の主たる収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを評価できる。
◆人件費比率(%)	人件費／支出×100	支出に占める人件費の割合。支出の中で人件費が高すぎないか、抑制しすぎていないかを評価できる。
◆外部委託比率(%)	外部委託費合計／支出×100	支出に占める外部委託費の割合。外部委託に委任しすぎていないか評価できる。
◆利用者1人当たりの管理運営コスト(円)	支出／延利用者数	利用者1人当たりに対する管理運営コストが適正であるかを確認。前年度との比較、類似施設との比較などにより効率性を評価できる。
◆利用者1人当たりの市負担コスト(円)	市の支出／延利用者数	利用者1人当たりに対する市負担コストが適正であるかを確認。前年度との比較、類似施設との比較などにより効率性を評価できる。
◆施設1㎡当たりの利用者数(人)	延利用者数／延床面積	施設1㎡当たりの利用者数を確認。利用者に対して施設の大きさが適当か、類似施設との比較により効率性を評価できる。

※過去の実績や類似施設と比較して評価する(優良:A、良好:B、問題有:C、要改善:D)

●評価の判定基準

① 一次評価	A(優良)= 協定書、仕様書等の内容を遵守し、定めた水準よりも優れている B(良好)= 協定書、仕様書等の内容を遵守し、定めた水準に達している C(課題有)= 協定書、仕様書等の内容を遵守しているが、一部課題がある D(要改善)= 協定書、仕様書等の内容を遵守しておらず、早急な改善が必要である
--------	--

② 総括	A(優良)= 一次評価がすべてB以上であり、かつAが半数以上である B(良好)= 一次評価がすべてC以上であり、かつABが半数以上である C(課題有)= 一次評価がすべてC以上であり、かつABが半数未満である D(要改善)= 一次評価にDが含まれている
③ 総合評価	A(優良)= 総括がすべてB以上であり、かつAが半数以上である B(良好)= 総括がすべてB以上であり、かつAが半数未満である C(課題有)= 総括がすべてC以上であり、かつCが含まれている D(要改善)= 総括にDが含まれている

指定管理者 期末モニタリング チェックリスト(令和6年度)

総合評価	B
------	---

実施日 R7年 6月 20日
担当課 こども未来課

対象施設	加茂野児童館	選定方法	公募・非公募(任意指定)
設置目的	児童に健全な遊びを与えてその健康を増進し、情操を豊かにするため		
指定管理者名	株式会社 セリオ	指定期間	R5.4.1~R8.3.31

総括	B	R5 年度	R6 年度	年度	年度	年度	評価
① 経営分析	事業収支(円)	1,292,899	445,637				B
	利用料金比率(%)	0.0	0.0				—
	人件費比率(%)	92.8	76.7				B
	外部委託費比率(%)	0.0	19.3				B
	利用者1人当たりの管理運営コスト(円)	1,228	1,566				B
	利用者1人当たりの市負担コスト(円)	1,411	1,633				B
	施設1㎡当たりの利用者数(人)	26.1	24.8				B

※上記の経営分析については、過去の実績や類似施設と比較して評価する(優良:A、良好:B、問題有:C、要改善:D)

②実施事業に関すること		総括	B	一次評価	評価理由等
1	施設の設置目的に沿った事業を実施したか。目標を達成したか			B	仕様書等に則り運営されている。
2	収支計画との整合性はあったか			B	令和6年度支出予算額 10,960 千円、収入予算額 10,960 千円に対し、令和6年度支出決算額 10,514 千円、収入決算額 10,960 千円となった。支出は予算額範囲内での執行に、収入は予算額通りの執行状況となり、収支計画との整合性が図れた。
3	開館時間、休館日は適正に守られていたか			B	適正に守られており、休館日は相談の上決定した。
4	資格者の人員配置など職員体制が適正に整えられていたか			A	有資格者が適切に配置されている。仕様書の適正従業員である館長 1 名、職員 1 名以上に対し、令和6年度は館長 1 名、常勤職員 1 名、非常勤職員 2 名での人員体制で事業を実施した。
5	公共性・公平性が保たれていたか			B	公共性・公平性が保たれていた。
6	改善指示事項や要望が事業に反映されていたか			A	引き続き、お楽しみ会、伝承遊び、夏休み小学生講座、クリスマス会をメインとしたイベントを、前回参加者の意見を取り入れながら開催していた。
7	自主事業は適正に実施されていたか			—	自主事業は実施していない。

③経理に関すること		総括	B	一次評価	評価理由等
1	指定管理業務に係る固有の銀行口座が適正に管理されていたか			B	加茂野児童館固有の口座で管理されていた。
2	協定に基づいた支出が適正に行われたか			B	適正に行われていた。

3	指定管理業務と自主事業の会計が明確に区分して管理されていたか	—	自主事業は実施しておらず、収支がない。
4	帳簿が適正に記載・管理されていたか	B	事業者内のチェックリストに則り適正に記載・管理されていた。
5	帳簿を適正に記載・管理する体制が整えられていたか	B	事務局・管理課・経理課にてトリプルチェックを実施していた。
6	現金は適正に管理されていたか	B	事業者内のチェックリストに則り適正に管理されている。また金庫の鍵を保管するキーボックスをダイヤル式に変更し、館長しか扱えないようにしていた。

④施設管理に関すること		総括	B	一次評価	評価理由等
1	保守点検・検査・修繕は適正に実施されたか			C	一部定められた保守点検が実施できていなかった。
2	清掃は確実に行われたか			B	毎日清掃・消毒作業が行われていた。
3	マスターキー等の管理体制は十分であったか			B	適切に管理されていた。
4	緊急時の連絡体制は整えられていたか			A	小・中・高生の利用者登録を徹底していた。また BCP の見直し、職員への周知をしていた。
5	避難経路の安全性は確保されていたか			B	避難経路に危険がないか点検を実施していた。
6	備品は適切に管理されていたか			A	新たな備品は備品購入記録に記載し、月に 1 回備品チェックを 2 名体制で実施していた。
7	駐車場の保全・管理、施設の警備等は適切に行われていたか			A	保育園側で警備担当を駐車場に配置し管理している。また令和 7 年 3 月よりみまもりカメラ(防犯カメラ)を計 13 台設置し施設の警備に努めた。

⑤サービスに関すること		総括	A	一次評価	評価理由等
1	利用時間の延長など具体的にサービス向上や稼働率等の向上に取り組んだか			A	令和 5 年度から小学生・乳幼児親子の利用時間の設定を廃止し、誰でも閉館時間まで利用できるようにした。 また令和 6 年度より行事を月齢別ではなく誰でも参加できる形態に変更したり、あじさい子育て広場を毎週実施したりと新たな取り組みも行っていった。
2	苦情等の処理は適正かつ迅速に行われたか			B	苦情はあったが適切かつ迅速に対応していた。
3	苦情等の処理に関する書類は適正に整備・管理されていたか			B	苦情・要望等があった場合は苦情受付簿で適正に管理していた。
4	ホームページ等でのPRは適正に行われたか			B	児童館だよりを更新しイベント等の周知をしていた。
5	セルフモニタリングは適正に行われたか			A	利用者アンケートを実施している。 利用者アンケートを継続的に行ない、毎月の職員会議で共有、改善点について話し合いを行った。
6	利用者アンケートの結果をサービスの向上にいかしたか			A	利用者アンケートの結果を反映し、小学生講座及び各イベントの内容を検討・決定した。
7	サービス向上のために職員研修等を実施したか。接客態度に問題はなかったか			A	事業者内部や外部講師の研修を実施し、来館者への対応も誠実かつ丁寧に行っていた。
8	経費縮減・費用対効果の向上(費用の最小化)を図る取組みを実施したか			A	人件費削減・生産性向上のために勤怠管理システム・経費精算システム等を社内統一で利用していた。 また保育園と共同で一部消耗品を使用していた。

⑥その他		総括	A	一次評価	評価理由等
1	施設の管理に係る情報の管理や情報公開は適正に行われたか			B	保育園と連携し管理していた。
2	個人情報 that 適正に利用・管理されていたか			A	個人情報管理台帳・リスク管理表・個人情報授受記録表等により適切に処理しており、内部書面監査による指導を受けていた。
3	環境に配慮した事業を推進したか			A	廃材を工作に使用したり、あさがおを使った緑のカーテンを実施していた。
4	業務実施に必要な保険に加入していたか			B	傷害保険・損害賠償保険に加入していた。
5	利用者及び職員の安全管理に関する体制・仕組みが適切に整えられていたか			A	今年度より小・中・高生の利用登録を徹底し、緊急時に保護者と連絡がとれる体制を整えていた。
6	労働法令を遵守し、雇用・労働条件への適切な配慮がされていたか			A	適切な勤怠管理と3か月に1度の契約更新面談を全職員に対して実施していた。
7	地域との連携・協働は図られたか。まちづくりに配慮した事業を推進したか			B	小学生向けのイベントで、中学生や地域でイベントを行っている市民にボランティアで協力をいただいたくなど、地域と連携・協働した事業を実施していた。
8	市と連絡を密にしていたか			B	判断に迷う事や不明な事は事前に相談をしていた。

●経営分析の指標と評価の考え方

評価指標	計算方法	評価の考え方
◆事業収支(円)	収入－支出	事業全体が黒字であるかを確認。赤字の場合、管理継続性の面で課題となるため、市及び指定管理者で黒字転換に向けた協議が必要である。
◆利用料金比率(%)	利用料金収入／収入×100	収入に占める利用料金の割合。指定管理者の主たる収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを評価できる。
◆人件費比率(%)	人件費／支出×100	支出に占める人件費の割合。支出の中で人件費が高すぎないか、抑制しすぎていないかを評価できる。
◆外部委託比率(%)	外部委託費合計／支出×100	支出に占める外部委託費の割合。外部委託に委任しすぎていないかを評価できる。
◆利用者1人当たりの管理運営コスト(円)	支出／延利用者数	利用者1人当たりに対する管理運営コストが適正であるかを確認。前年度との比較、類似施設との比較などにより効率性を評価できる。
◆利用者1人当たりの市負担コスト(円)	市の支出／延利用者数	利用者1人当たりに対する市負担コストが適正であるかを確認。前年度との比較、類似施設との比較などにより効率性を評価できる。
◆施設1㎡当たりの利用者数(人)	延利用者数／延床面積	施設1㎡当たりの利用者数を確認。利用者に対して施設の大きさが適当か、類似施設との比較により効率性を評価できる。

※過去の実績や類似施設と比較して評価する(優良:A、良好:B、問題有:C、要改善:D)

●評価の判定基準

① 一次評価	<p>A(優良)= 協定書、仕様書等の内容を遵守し、定めた水準よりも優れている B(良好)= 協定書、仕様書等の内容を遵守し、定めた水準に達している C(課題有)= 協定書、仕様書等の内容を遵守しているが、一部課題がある D(要改善)= 協定書、仕様書等の内容を遵守しておらず、早急な改善が必要である</p>
② 総括	<p>A(優良)= 一次評価がすべてB以上であり、かつAが半数以上である B(良好)= 一次評価がすべてC以上であり、かつABが半数以上である C(課題有)= 一次評価がすべてC以上であり、かつABが半数未満である D(要改善)= 一次評価にDが含まれている</p>
③ 総合評価	<p>A(優良)= 総括がすべてB以上であり、かつAが半数以上である B(良好)= 総括がすべてB以上であり、かつAが半数未満である C(課題有)= 総括がすべてC以上であり、かつCが含まれている D(要改善)= 総括にDが含まれている</p>

指定管理者管理運営状況調書

1. 指定管理者・施設の基本情報

令和7年6月20日

指定管理者名	株式会社セリオ	担当課	こども未来課
指定期間	R5. 4. 1~R8. 3. 31	選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募・ <input type="checkbox"/> 非公募(任意指定)
施設名	加茂野保育園・加茂野児童館	施設の種類	子育て支援施設
所在地	岐阜県美濃加茂市加茂野町鷹之巣1453番地		
設置根拠条例等	美濃加茂市保育園の設置及び管理に関する条例、美濃加茂市児童館の設置及び管理に関する条例		
設置目的・役割	保育を必要とする乳児・幼児を日々保護者の下から通わせて保育を行うこと、児童に健全な遊びを与えてその健康を増進し、情操を豊かにするため		
実施事業	加茂野保育園及び児童館の運営		

2. 施設の概要

土地	敷地面積	4,510.72 m ² ※指定管理区域		駐車場台数	30 台程度(小学校と共用部あり)			
	内借地面積	該当なし	契約期間	該当なし	借地料	該当なし		
建物	設置形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市所有 <input type="checkbox"/> 賃貸借	契約期間	該当なし	賃借料	該当なし		
	建物の内容	加茂野保育園、加茂野児童館						
	主要な建物の建築年月	平成 11 年 2 月		取得時期				
	延床面積	1,591.69 m ² (1,321.23 m ² +270.46 m ²)		構造	RC 造		階数	2
	耐震基準	新耐震	耐震診断	不要	耐震補強	不要	Is値	-
	ユニバーサルデザイン化状況	実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部実施 <input type="checkbox"/> 未実施	エレベーター	スロープ	自動ドア	手すり	障がい者用トイレ	その他
			有・ <input type="checkbox"/> 無	有・ <input type="checkbox"/> 無	有・ <input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	有・ <input type="checkbox"/> 無	
	大規模修繕実施状況	2021年3月空調設備工事、2022年2月防水改修工事						
留意事項								

3. 管理・運営の現況

開館日数	保育園: 293 日 児童館: 293 日	休館日	保育園・児童館: 日祝日、12/29~ 1/3	開館時間	保育園: 7:30 ~ 18:30 児童館: 9:00 ~ 17:00
職員数等管理体制	保育園: 園長1名、副園長1名、保育士(常勤)11名、保育士(非常勤)9名、看護師(常勤)1名、その他8名 計31人 児童館: 館長1名、厚生員(常勤)1名、厚生員(非常勤)2名 計4人				

4. 施設の維持管理コスト等(保育園分と児童館分合計)

		(単位:千円)	5年度	6年度	7年度	8年度	指定管理導入前(R4)
市の 収 支 状 況	支 出	支出合計	165,647千円	164,711千円			112,977千円
		人件費					73,185千円
		修繕料・工事請負費	6,069千円	342千円			305千円
		光熱水費					3,548千円
		委託費・指定管理料	159,578千円	164,369千円			31,924千円
		賃借料					
		その他					4,015千円
	収 入	収入合計	13,563千円	11,788千円			13,361千円
		使用料・手数料	13,563千円	11,788千円			13,361千円
		その他業務収益					
業務関連収益							
		(単位:千円)	5年度	6年度	7年度	8年度	年度
指定 管 理 者 の 収 支 状 況	支 出	支出総合計(a+b)	110,082千円	130,658千円			
		支出合計(a)	110,082千円	130,658千円			
		人件費	81,616千円	98,594千円			
		事業費	11,667千円	12,146千円			
		維持補修費	216千円	765千円			
		光熱水費	4,555千円	4,660千円			
		保守点検等委託費	12,028千円	14,493千円			
		その他					
	収 入	自主事業支出(b)					
		収入総合計(c+d)	130,723千円	135,838千円			
		収入合計(c)	130,723千円	135,838千円			
		指定管理料	128,584千円	128,584千円			
		利用料金	0千円	0千円			
		その他	2,139千円	7,254千円			
		自主事業収入(d)					

5. 施設の利用状況 保育園分

		5年度	6年度	7年度	8年度	指定管理導入前		
開館日数		293	293			243		
年間延利用者数		1,763	1,728					
利用者数(3/1時点)		145	144			158		
定員		174	174			195		
部 屋 別	名称	加茂野保育園			平日	100%	土日祝	100%
	午前	100%	午後	100%	夜間	%	計	100%
稼 働 率	名称	加茂野児童館			平日	100%	土日祝	100%
	午前	100%	午後	100%	夜間	%	計	100%
	名称				平日	%	土日祝	%
	午前	%	午後	%	夜間	%	計	%

施設の利用状況 児童館分

	5年度	6年度	7年度	8年度	指定管理導入前
開館日数	291	293			293
利用件数					
利用者数	7,058	6,713			5,556
定員					

6. 事業の実施状況

事業の実施状況	事業名	加茂野保育園	利用者数等	144名(R7.3.1時点)
	事業内容	児童福祉法、子ども・子育て支援法にもとづく保育の提供		
	事業名	加茂野児童館	利用者数等	6,713名
	事業内容	児童福祉法にもとづき、児童に健全な遊びを与えてその健康を増進し、情操を豊かにする。		
	事業名	加茂野児童館 お楽しみ会	利用者数等	81名
	事業内容	6月1日開催。 読み聞かせサークル「ぐりとぐら」公演(ブラックライトシアター、体操、人形劇)等		
	事業名	加茂野児童館 伝承遊び	利用者数等	22名
	事業内容	11月16日開催。 紙こまなどの製作や、けん玉・だるま落とし・こま・おはじき・めんこを体験。		
	事業名	夏休み小学生講座	利用者数等	計105名
	事業内容	ビクトランプゲーム(12名)、風船バスケット(13名)、ふわふわスライム作り(19名)、くるくるレイン棒作り&空気砲まあとあてゲーム(18名)、リアルすごろくゲーム(16名)、マジックショー(27名) ※()内は参加者数		
	事業名	加茂野児童館クリスマス会	利用者数等	計75名
	事業内容	12月21日開催。 ボランティアに協力してもらい、手遊びや音楽遊びを開催。		
特記事項				

7. 指定管理者制度導入・更新前後の比較

項目	結果・詳細
サービス面	平日の保育に加え、これまで各公立保育園等における土曜保育について、あじさい保育園での一括実施だったものが、加茂野保育園で実施できるようになった。
コスト面	指定管理制度を導入し、指定管理料が新たに発生したことにより、コスト面では上昇している。
利用者数・稼働率	保育園は利用者数に大きな差はないが、指定管理となることで職員体制が整えられ0歳児の受入ができるようになった。児童館は指定管理導入前に比べ利用者数が増加している。
事業実施状況	概ね適正に実施できている。保護者からの要望・指摘、満足度アンケートを受け、改善を続けている。
地域との協働等	保育の安定を最優先としていることもあり、今後徐々に行っていく。
その他	